

令和5年10月20日開催
第3回北九州市新ビジョン検討会議
会議資料

新たなビジョンに係る意見の中間とりまとめについて (有識者や市民などの意見による現在の視点について)

1 新ビジョンの「目指す都市像」について

- ◆北九州市は、今、「少子高齢化」や「人口減少」といった、日本やアジアも体験したことのない社会課題に直面する中、「新たな産業構造への転換」「社会経済システムの変革」による、力強い成長を実現していく必要。
- ◆これまでも、公害などの困難に直面するたび、産学官民連携の力で挑戦・克服し、その成果（環境技術・水道技術など）で、アジアの環境改善などに貢献。
- ◆このため、今、直面する社会課題にも果敢に挑戦し、同じ社会課題に、今後、直面する日本、アジア、そして世界に解決の道筋を示し、これからも世界の発展に貢献。
- ◆人口減少時代においても、「まちの成長」と「市民の幸福」の好循環を実現し、市民のウェルビーイングが充足されるロールモデル（成熟都市モデル）として、「世界の発展に貢献するまち」を実現。

2 「目指す都市像」の実現に向けた「重点戦略」について

(1)「稼げるまち」の実現

人の熱さや産業の力といった北九州市のポテンシャルを最大発揮することで、若い世代や女性の定着・移住による「稼げるまち（＝経済成長）」を実現



- ・稼げる仕事の創出やチャレンジできる環境により、若者・女性をはじめとした挑戦意欲のある人が定着。
- ・多様な人材が集まり、まちが活力に溢れる中で、さらに、ワンランク上のライフスタイルを志向。

[成果指標の例]

- 市内総生産額（名目） ■経済成長率（名目、実質） ■雇用創出数
- 女性の年齢階級別労働力率 など

① 産業関係

- ・ DX・AI の活用や経営戦略の支援などによる市内企業の生産性向上
- ・ 脱炭素やエネルギーなどの新たな時代に適合するビジネスの創出
- ・ 特区等の活用などによる社会実装
- ・ IT 分野などの企業の誘致（バックアップ首都構想）
- ・ スタートアップ支援によるベンチャー企業の創出
- ・ 高齢者や障害者などの誰もが働き続ける環境づくり など

② インフラ関係

- ・ 物流・人流の活発化に向けたインフラ整備（陸・海・空）
- ・ 企業誘致に向けた産業用地の創出 など

③ 人材育成関係

- ・ クリエイターなどの起業家の呼び込み
- ・ 学生等へのアントレプレナーシップ（起業家精神）教育による起業家の育成
- ・ リスキリング等による DX 人材の育成
- ・ スタートアップなど若者や女性の挑戦への支援
- ・ 子育てと仕事の両立支援
- ・ 学生期における市内企業や地域との関係づくり
- ・ アジアの活力の取り込みに向けた高度外国人材の受入 など

(2)「ハイクオリティ」な都市づくり

民間投資などを促すことにより、質の高いサービス（観光、文化など）や生活・教育環境が体感できる「ハイクオリティなまち」の実現



- ・街のステータス（格）を上げることで、物心両面の豊かさを求める人々がさらに集積。
- ・多様な人々のニーズに応える高質なサービスが提供されることで、このまちでの消費をさらに喚起。

[成果指標の例]

- | | | |
|--------|----------|---------------|
| ■市内消費額 | ■実質購買力指数 | ■観光客数（日帰り、宿泊） |
| ■商業地地価 | ■住宅地地価 | など |

① まちづくり関係

- ・小倉地区などにおけるウォーカブルなまちづくり
- ・開発可能区域（商業施設や住宅）の見直しによる計画的なまちづくり
- ・移住・定住促進に向けたライフスタイルに応える住環境などの整備
など

② 教育関係

- ・幼稚園から大学までの多様な選択肢となる教育環境の充実
- ・英語教育や理工系教育の充実
- ・新時代の教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致
など

③ サービス関係

- ・ハイクラスの宿泊施設の整備などによる観光ニーズへの対応
- ・観光地の磨き上げと情報発信の推進
- ・地域における歴史や伝統の継承および磨き上げ
- ・多様なライフスタイルや価値観に応える文化芸術やスポーツの振興
など

(3) 市民の「安全・安心」な暮らしの確保

市民サービスや都市基盤を適切に維持・充実することで、子どもから高齢者、障害の有無、性別、国籍に関わらず、「安全に、安心して暮らせるまち」の実現



- ・安心して暮らすことができる場所が整うことで、さらに、若者・女性をはじめとした挑戦意欲ある人が、このまちに集まり、働き、消費することで、まちが潤う好循環を実現。

[成果指標の例]

- 高齢者、障害者、児童などの実態調査（アンケート結果）
- 健康寿命 ■ADL・日常生活自立度 など

① 子育て・子ども関係

- ・女性のキャリア支援の視点による子育て支援の充実
- ・地域の繋がりを生かした子育て支援の充実
- ・年齢や性別に関係なく楽しく子育てに参加できる環境の整備
- ・子ども目線での学校教育の環境の充実
- ・子どもの居場所づくり
- ・不登校児やヤングケアラーなどへの支援 など

② 福祉・コミュニティ関係

- ・個人として尊重され、多様性を受け入れるまちづくり
- ・人と人、人と地域が繋がる社会づくりに向けた「共助」の構築
- ・テーマ別や分野別の市民活動の強化
- ・高齢者や障害者などが安心して暮らせるまちづくり
- ・健康活動の促進による健康寿命の延伸
- ・企業における健康経営の推進 など

③ 防災・防犯・インフラ関係

- ・減災の視点によるコンパクトシティの推進
- ・女性などの視点を生かした防犯対策の推進
- ・計画的な公共施設や生活インフラの維持・更新 など

4 新ビジョンにおける目標年次

2040（令和22）年

5 （参 考）新ビジョン策定のこれまでと今後の主なスケジュール

◆議会報告、有識者会議など ◇市民意見聴取

時期	内容
5月17日（水）	◆総務財政委員会 →新ビジョンの策定スケジュールなど
7月13日（木）	◆北九州市アドバイザー意見交換会
7月17日（月・祝） ～8月26日（土）	◇7区におけるミライ・トーク（9回開催）
7月26日（水）	◆総務財政委員会 →データ等による本市の現状の報告
7月27日（木）	◆第1回 北九州市新ビジョン検討会議 →データ等による本市の現状の報告
8月17日（木）～	◇WEB 上でのアンケート開始
8月23日（水）	◆総務財政委員会 →新ビジョンを考える際の視点の報告
8月24日（木）	◇働く女性とのミライ・トーク
8月28日（月）～ 9月15日（金）	◇子ども・保護者アンケート （教育・子家庭と共同実施）
8月31日（木）	◆第2回 北九州市新ビジョン検討会議 →新ビジョンを考える際の視点の報告
9・10月中	◆地元有識者等へのインタビュー
9月27日（水） 10月12日（木）	◇若者とのミライ・トーク（2回開催）
10月中	◇高齢者へのインタビュー（各区にて実施） ◇関係団体へのヒアリング（各局にて実施）
10月10日（火）	◇子育て世代とのミライ・トーク

10月18日（水）	◆総務財政委員会 →中間とりまとめの報告
10月20日（金）	◆第3回 北九州市新ビジョン検討会議 →中間とりまとめの報告
11月下旬	◆総務財政委員会 ◆第4回 北九州市新ビジョン検討会議 →素案の報告
12月（1ヶ月間）	◇パブリックコメントの実施
12月16日（土）・17日（日）	◇ミライ・トーク in 北九州（東西2ヶ所）
1月下旬	◆総務財政委員会 ◆第5回 北九州市新ビジョン検討会議 →最終案の報告
2月	◆最終案を議会に提出